

女性の健康、環境問題

市民の健康を守るのは市の行政として当然の義務です。別に女性プランなど存在しなくても、保健センターその他の行政機関によってその当然の義務は果されねばなりませんし、従来もかなりな程度のことを行なわれてきました。

では女性プランとして特に女性の健康を取り上げねばならない理由はどこにありますか。世界女性会議などで「性と生殖に関する健康・権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」が特に大きく取り上げられた理由は、医療の世界もまだまだ男性主導であって、女性の主体性や問題意識が十分に配慮されてきたとは言えないからです。女性の健康にかかわる問題は女性がみずから決める権利がある、ということです。

一方では、女性を単なる「母性」に還元して、いわば産むための単なる道具とみなそうとする圧力があり、他方ではそれと裏腹に、個々の女性の意志に反して母性としての身体的機能にも障害が加えられることがあるという現実があります。また、家庭と仕事の二重負担から生じる過労や、企業等における「男女平等」に名を借りた女性への過酷な労働条件の押しつけが、女性の健康や母性機能に及ぼす大きな悪影響など、まだまだ問題は山積みしています。最後の点については、男性が女性と平等に家庭責任を負うことが基本的な課題ですが、同時に、男性中心の企業社会における極度な残業の多さ、深夜に及ぶ残業を当然とみなす風潮などが、「男女平等」に名を借りて女性にも押しつけられることは、女性の健康にとって大きな問題であるばかりでなく、男性自身の心身にわたる健康を大きく阻害していることに気づくべきです。

また、人工・体外受精、男女産み分けなど、昨今の生殖技術の進歩には驚くべきものがありますが、男性の医学者主導で進められる開発、研究に対し、女性はしっかりとした意識をもって、女性の身体が「道具」とされないよう監視し、積極的に発言していく必要があります。

この中で、市の行政として可能な以下の課題に取り組んでいきます。

1.性と生殖に関する健康・権利

一人一人の女性が産む産まないを個人として選ぶ自由、性関係は合意の上でのみ持つという女性の主体性の尊重、妊娠、出産に際しての安全の確保など、また女性の肉体的発育と健康の維持が十分になされるような知識の普及、それぞれの女性が自分の発育と健康の維持を何よりも重んじることができる権利など、さまざまな問題にわたって、従来の社会では女性の社会的地位の相対的な低さに応じて、ないがしろにされることが多かったのが実態です。これは一つには社会的常識、慣行による圧力の問題ですから、これを改めるには社会全体の姿勢を改める必要があります。また、医療機関その他による個々の女性の意志を無視した行動(陣痛促進剤を不必要に多用する、ほかいろいろ)なども是正されねばなりません。また、生涯を通じての女性の肉体的変化とそれに対応する精神の動きに関して、現在の医療機関の組織が十分であるとも言えません。こういった状態は市民社会全体の力によってしか変えられませんが、市の行政としてもその動きをうながす方向で努力いたします。

医療機関の組織

・産科と婦人科の分離、思春期外来、不妊専門の外来、更年期専門の外来など需要が多くかつ独自の広い問題をかかえた領域の診察の独立設置、その他女性から多く要望のある事柄を医療機関に呼びかける。	健康推進課 市民病院
・以上のうち可能性のあるものは市民病院等に検討を依頼する。	
・その他現状の医療機関の組織の問題について広く女性の意見を聞く機会をもうける。	

健康維持のための努力

以下の項目のほとんどは本来女性プランが存在しなくても当然実施されているはずのものであるが、女性の健康維持の重要性を考え、念のためにここに列挙する。

・身じかなところで気軽に健康診査が受けられ、健康に関するさまざまな情報を得ることができるようにする。	健康推進課 農林水産課 スポーツ振興課
・各ライフサイクルにおける健康教室を開催し、健康情報を提供する。	
・こころの健康対策を充実する。	
・未就業および農漁業、自営業就業女性など平常健康診査を受ける機会	

を逃しやすい女性たちが健康診査を定期的に受けやすくするよう働きかける。	
・気軽に利用できる運動施設の設置をはかる。	

「性と生殖に関する健康・権利」について、知識の普及と意識改革

・「性と生殖に関する健康・権利」に関する全般的な学習の機会を多く提供する。	女性センター 健康推進課
・最近急速に普及してきた出生前診断についての情報を提供し、その問題性の認識も同時に広める。	
・妊娠、出産、子育てについて男性とともに学べる講座を開催する。	
・女性の健康問題は男性にとっても重要であるという認識の上に立って、男性が女性の健康問題について学習する機会を提供する。	
・男性が男性の健康問題を女性とともに生きる意識の中でとらえ直すよう働きかける。特に、男性中心の企業社会における極度な残業の一般化が女性と男性の双方にもたらす問題について、広く問題意識を喚起する。	
・育児や母体の健康は、父親も共同して責任を負うべきことであるから、「母子健康手帳」の名称や内容を検討する。	
・性感染症、HIV感染などに関する正確な知識を広め、不当な差別意識を除く努力をする。	

2.環境問題

環境問題は女性政策に限定される問題ではなく、別の大きな問題です。従ってここでは特に女性にかかわる施策のみを指摘します。

環境ホルモンと女性の健康

・環境ホルモンが女性の健康に与える影響に関する学習講座を開催する。	女性センター 健康推進課
-----------------------------------	-----------------

環境に関する行政の意思決定過程への女性の参画

環境問題は男女の区別なくすべての人間に関わる問題であるが、現実には、生活面の責任を女性が負うことが多い現状においては、女性の方が問題に敏感であることが多い。また女性の健康に直接かかわる問題も多い。従って、環境に関する行政の意思決定過程に女性が多く加わることが重要である。

・環境に関する行政上の審議会等では特に女性委員の比率を高めるようにする。	自治振興課 環境保全課 環境整備課 廃棄物減量推進課
・ごみ減量推進員活動の活性化をはかる。	
・環境問題に関して女性市民の声を聞く機会を適宜もうける。	
・男性も市民生活における環境問題の重要性を理解するよう、地区市民協議会等の場を通じて機会をもうける。	